

病害虫発生速報(10月5～6日, 11日調査)

病害虫防除所が実施した調査をもとに、平年値と比較した病害虫の発生速報です。
不明な点がありましたら、病害虫防除所予察班(TEL:022-275-8982)までお問い合わせください。

作物 (地点数)	病害虫名	調査時期	調査結果	備考
りんご (16)	斑点落葉病(果実)	8月上旬～ 10月上旬	やや少	県北部の一部ほ場で発病が確認されましたが、発病果率は平年よりやや低くなりました。
	黒星病(果実)	8月上旬～ 10月上旬	少	発病は確認されませんでした。
	褐斑病(果実)	8月上旬～ 10月上旬	平年並	県南部の一部ほ場で発病が確認され、発病果率は平年並でした。
	輪紋病(果実)	8月上旬～ 10月上旬	平年並	広域で発病が確認され、発病果率は平年並でした。
	炭疽病(果実)	8月上旬～ 10月上旬	平年並	県南部で発病が確認され、発病果率は平年並でした。
	すす点病・すす斑病(果実)	8月上旬～ 10月上旬	平年並	県南部及び県北部で発病が確認され、発病果率は平年並でした。
	モモシンクイガ(果実)	8月上旬～ 10月上旬	やや多	県南部及び県北部で被害が確認され、一部で被害果率の高いほ場も確認されました。
	果樹カメムシ類(果実)	8月上旬～ 10月上旬	やや多	広域で被害が確認され、被害果率は平年より高くなりました。
秋冬ねぎ (11)	さび病	7月上旬～ 10月上旬	少	発病は確認されませんでした。
	べと病	7月上旬～ 10月上旬	少	発病は確認されませんでした。
	黒斑病・葉枯病	7月上旬～ 10月上旬	やや多	全調査地点で発病が確認され、発病株率及び発病度はともに平年よりやや高くなりました。
	アザミウマ類	7月上旬～ 10月上旬	やや多	全調査地点で被害が確認され、被害株率及び被害度はともに平年よりやや高くなりました。
	ハモグリバエ類	7月上旬～ 10月上旬	やや多	広域で被害が確認され、一部被害度の高いほ場も確認されました。また、広域で従来のハモグリバエよりも著しい食害痕を呈する別系統(バイオタイプB)の被害が確認され、発生地域が拡大傾向にあります。
	ネギコガ	7月上旬～ 10月上旬	やや多	広域で被害が確認され、被害株率及び被害葉率はともに平年より高くなりました。
いちご 令和5年産 本ぼ(13)	うどんこ病	10月中旬～ 3月中旬	平年並	県北部の一部ほ場で発病が確認されました。
	炭疽病	10月中旬～ 12月中旬	少	発病は確認されませんでした。県南部では発病が認めれたため株の植替えをしたほ場がありました。
	萎黄病	10月中旬～ 12月中旬	少	発病は確認されませんでした。県南部では発病が認めれたため株の植替えをしたほ場がありました。
	コナジラミ類	10月中旬～ 3月中旬	やや多	広域で成虫の発生が確認され、一部寄生株率の高いほ場も確認されました。幼虫及び蛹は確認されませんでした。
	ハダニ類	10月中旬～ 3月中旬	やや多	広域で発生が確認され、寄生頭数は平年並でしたが、寄生株率の高いほ場も確認されました。発生の主要種はナミハダニでした。